

令和 7 年 9 月伊那市議会定例会 請願・陳情文書表

令和 7 年 8 月 2 5 日

番 号	件 名	提 出 者	付託委員会	紹 介 議 員
49-1	伊那市公共施設LED化事業における安全性確保と市内業者の受注促進を求める陳情（陳情）	長野県電設業協会 伊那地区長 田中 和俊	総務文教委員会	
49-2	上の原幹線（市道0104号線）に歩道設置を求める陳情（陳情）	上の原幹線歩道設置促進 期成同盟会 会長 仲田 穂積	経済建設委員会	

<趣旨説明希望一覧>

番 号	件 名	趣旨説明
49-1	伊那市公共施設LED化事業における安全性確保と市内業者の受注促進を求める陳情（陳情）	希望なし
49-2	上の原幹線（市道0104号線）に歩道設置を求める陳情（陳情）	希望なし

伊那市議会

議長 田畑 正敏 様



49-1

伊那市公共施設 LED 化事業における安全性確保と市内業者の受注促進を求める陳情(陳情)

現在、景気の先行き不透明により民間投資が控えられ、地域建設業者の経営環境は一段と厳しさを増しています。そうした中、伊那市が保育園や小・中学校を含む公共施設の照明器具を LED 化する事業を進めていることは、脱炭素社会の推進やエネルギー効率の向上の観点からも意義ある取り組みと評価されるものです。

しかしながら、この事業がリース事業入札方式で実施されていることにより、市外の大手企業が落札し、市内業者はその下請けとして関与する構造となっています。このような形態では、市内業者は著しく不利な条件下での受注を強いられ、地域経済への波及効果も限定的となっているのが実情です。

また、安全面においても課題があります。現行のリース事業では、既存の照明器具の本体をそのまま残し、蛍光灯ランプのみを LED ランプに取り替える仕様が多く見られます。しかし、器具本体は長年使用されており、経年劣化による落下事故等の危険性を完全に否定することはできません。特に保育園や小中学校といった子どもたちが日常的に利用する施設では、安全性を最優先に考慮すべきであり、器具全体の更新を含めた設計・施工が必要と考えます。

以上のことから、地域業者の健全な育成と、公共施設における利用者の安全確保の観点から、以下の事項を陳情いたします。

記

1. 伊那市公共施設における蛍光灯から LED への取替工事については、市内電気工事業者が直接入札可能な「入札物件」とすること。
2. LED 交換にあたっては、ランプのみの交換ではなく、照明器具本体を含めた交換とすること。



令和7年8月21日

伊那市議会

議長 田畑 正敏 様

49-2

上の原幹線（市道 0104 号線）に歩道設置を求める陳情（陳情）

上の原幹線は、伊那公園下の国道 361 号線から始まり、中央区、日影区、上の原区、上牧区、若宮区を通る地域の幹線道路で、沿線には伊那公園、市内最大の伊那市立東部中学校、上の原保育園や若宮団地などがあり、いくつもの大型の公共施設と接続する地域の重要な生活道路です。

この上の原幹線周辺は人口が増え続けている地域であり、交通量は多く（上伊那自動車検査場維持会前、車両 1,870 台／日、2024 年 4 月伊那市調査）、本来であれば、道路構造令による 3 種 3 級の規格で整備されるべき道路であるが、上の原区の区間は整備が遅れていて、通学、通勤時には通行車両が集中して大変混み合い、事故も度々発生しています。また、現在この地域に計画されている国道 153 号伊那バイパス、環状北線の整備により、この先も地域の人口は増え発展していくことが期待され、将来を見据えた安心安全のインフラ整備、住環境を守るための取り組みが重要となってきています。

このような状況にあって、上の原幹線は、居住者の多い上の原の区域だけに歩道が設置されておらず、そこを通学する子ども達はじめ歩行者にとって大変危険な状況が続いてきています。交通事故の発生リスクを減らすため、上の原区は 15 年ほど前から伊那市へ歩道設置の要望を重ねてきましたが、未だ実現していません。そして今、伊那市立東部中学校、伊那東小学校、伊那北小学校、上の原保育園や周辺及び市内事業所などの関係者や住民の皆さまから歩道設置が更に強く望まれています。

こうした認識のもと、国道 153 号伊那バイパスと環状北線の二つの基幹道路の整備計画を受け入れた上の原区民の安全確保への総意、これにご賛同いただ

いた市内41団体・企業の皆さまの「上の原幹線歩道設置促進期成同盟会委員名簿」を添え、上の原幹線全線への歩道設置の早期実現に向けて、下記事項が実現されますよう、ここに陳情いたします。

記

1. 交通量の多い上の原幹線を通学路として利用する子ども達の交通安全対策として、歩道のない区間への早期歩道設置
2. 整備計画が進む国道153号伊那バイパスと環状北線は既存生活道路との接続が制限され、上の原幹線への車両集中が危惧される。これら基幹道路の供用開始前に歩道を設置し、歩行者はもちろん通行車両にも安心安全な道路環境の整備
3. 市内最大規模の伊那市立東部中学校、上の原保育園、若宮団地や伊那公園・野球場・テニスコートと接続する上の原幹線に、道路構造令に基づく交通量に見合った道路整備の検討と更なる方策の提示